

2022年3月期第2四半期 決算説明会

2021年10月26日



執行役 営業本部長

松井 英彦

執行役 財務本部長兼CFO

塩嶋 慶一郎

世界最大規模の市場における本格的な独自展開に向けて、体制を構築中

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



- ・現地会社を地域統括会社 日立建機アメリカに社名変更し、人員増強中
- ・北中南米の有力代理店と契約内容を協議中
- ・最新油圧システム、安全装置、ConSite®搭載の油圧ショベルを準備中

'22年3月からの北中南米での体制



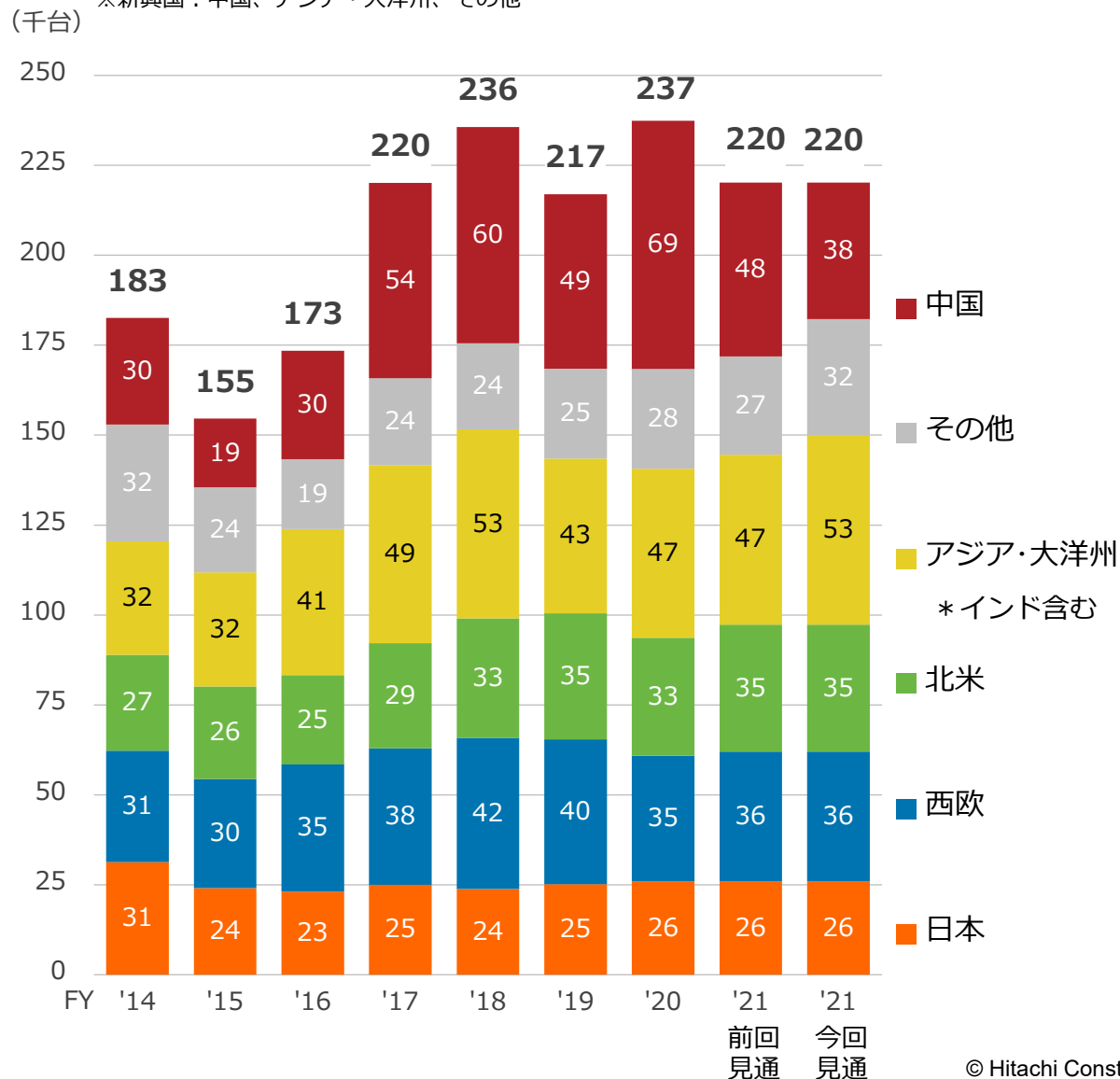
魅力的な新製品を投入、ConSite®のデータ連携で高収益な部品・サービス事業も取り込む

1. 地域別市場環境と見通しについて

執行役 営業本部長
松井 英彦

新興国比率：21年度 56%（前年比-5%）

※新興国：中国、アジア・大洋州、その他



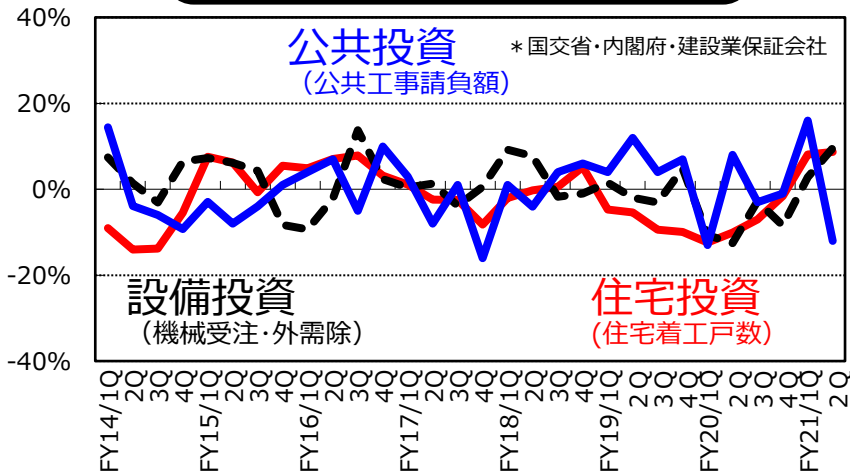
地域別需要対前年増減

※当社推定 中国国産メーカ含まず
※複写・転用はご遠慮下さい

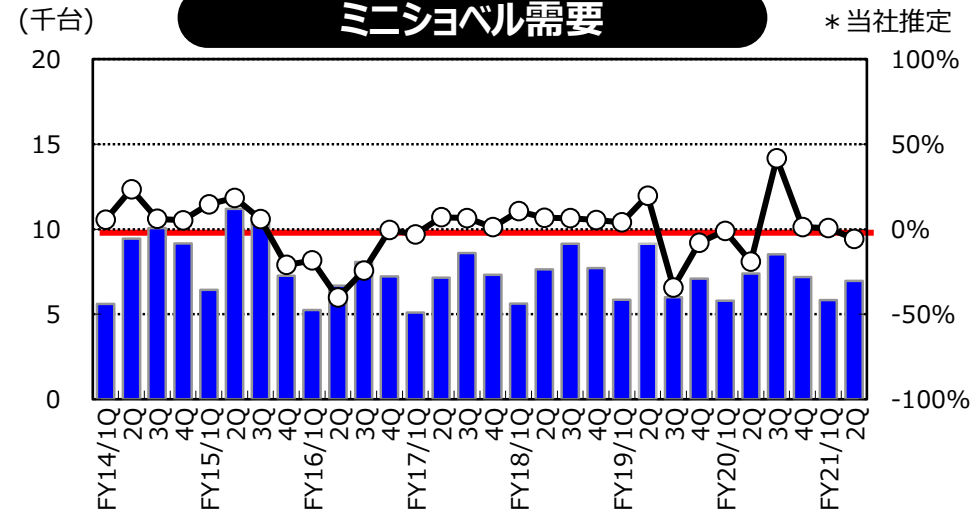
	'20	'21
合計	+9%	-7%
中国	+42%	-45%
ロシア・CIS	-7%	+24%
東欧		
アフリカ	+10%	+10%
中東	+10%	+25%
中南米	+34%	+10%
その他	+11%	+17%
アジア	+12%	+20%
インド	+5%	+0%
オセアニア	+16%	+20%
アジア・大洋州	+9%	+12%
北米	-6%	+8%
西欧	-13%	+3%
日本	+3%	+0%

- 設備投資、住宅投資は増加。公共投資は減少。
- 油圧需要は前年並み：前年同期比 油圧 -2%、ミニ -6%、WL +25%

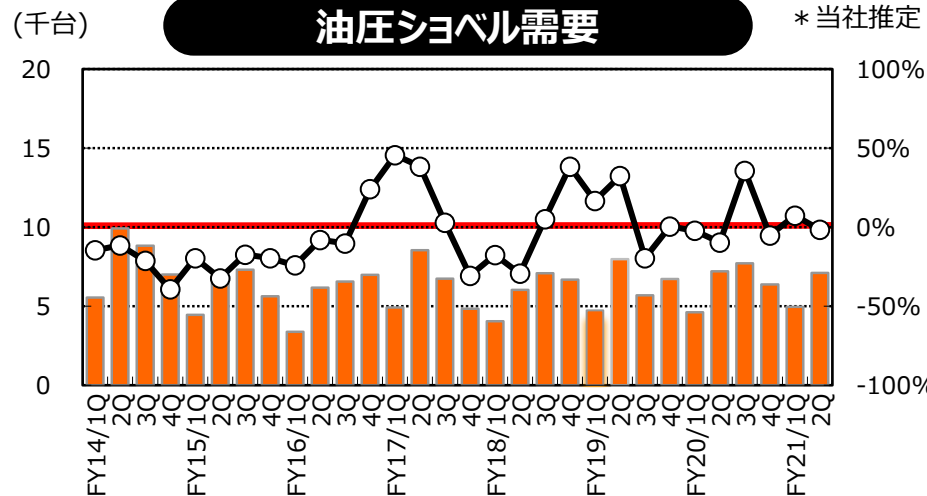
住宅・設備・公共投資 (前年同期比)



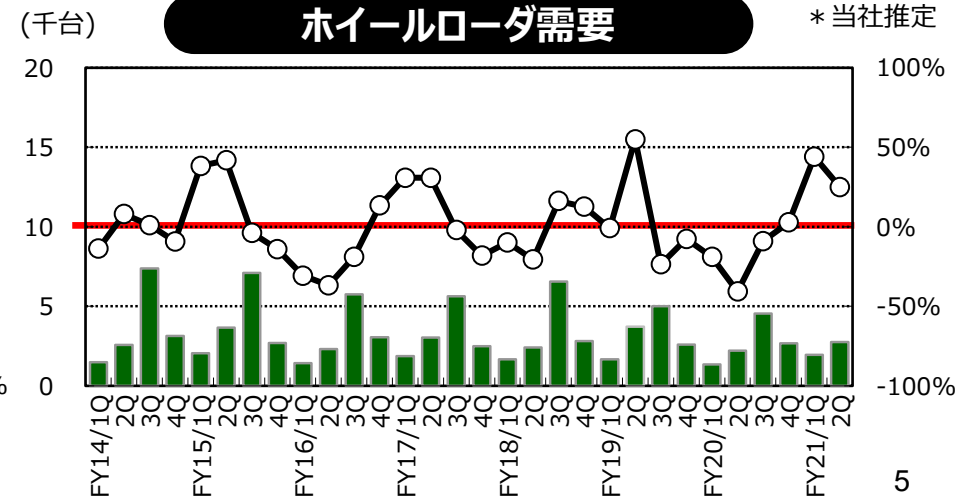
ミニショベル需要



油圧ショベル需要



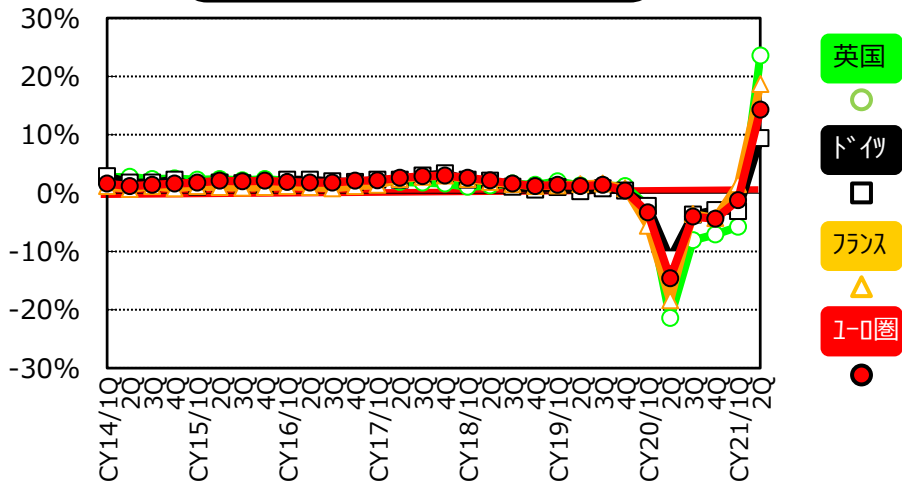
ホイールローダ需要



- 21年2QのGDP成長率は全地域で大幅上昇。
- 油圧需要は微増：前年同期比 油圧 +3%、ミニ +9%、WL -13%

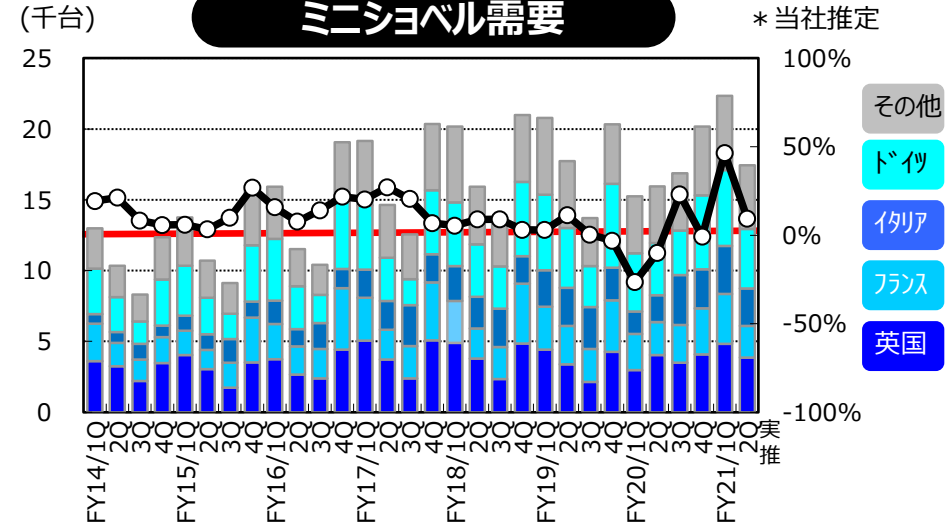
主要国GDP (前年同期比)

* Source: Eurostat



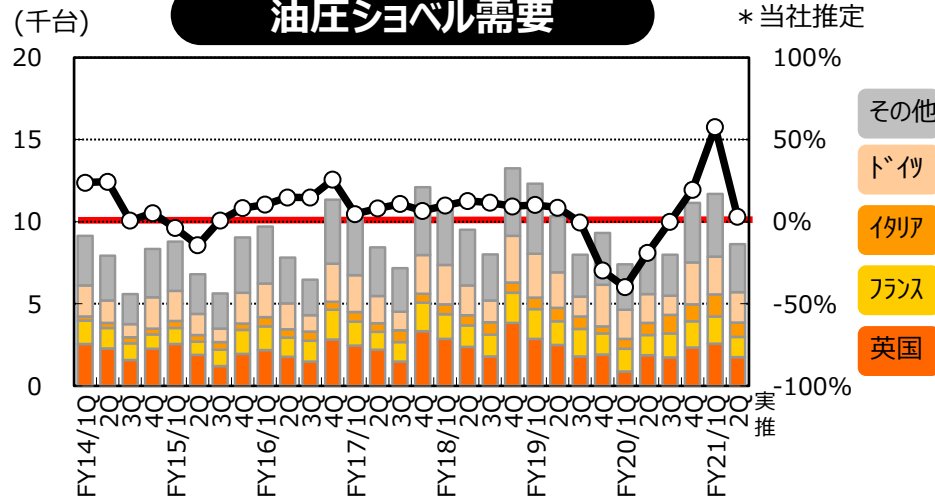
ミニショベル需要

* 当社推定



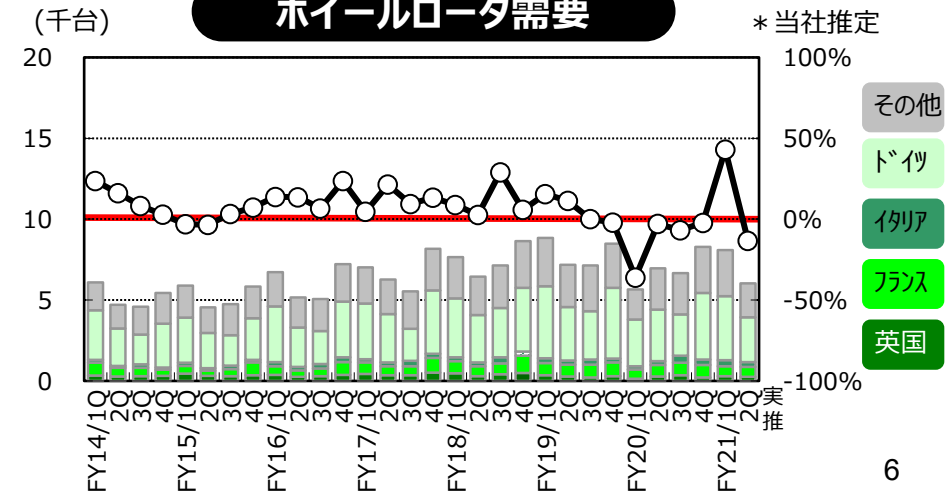
油圧ショベル需要

* 当社推定



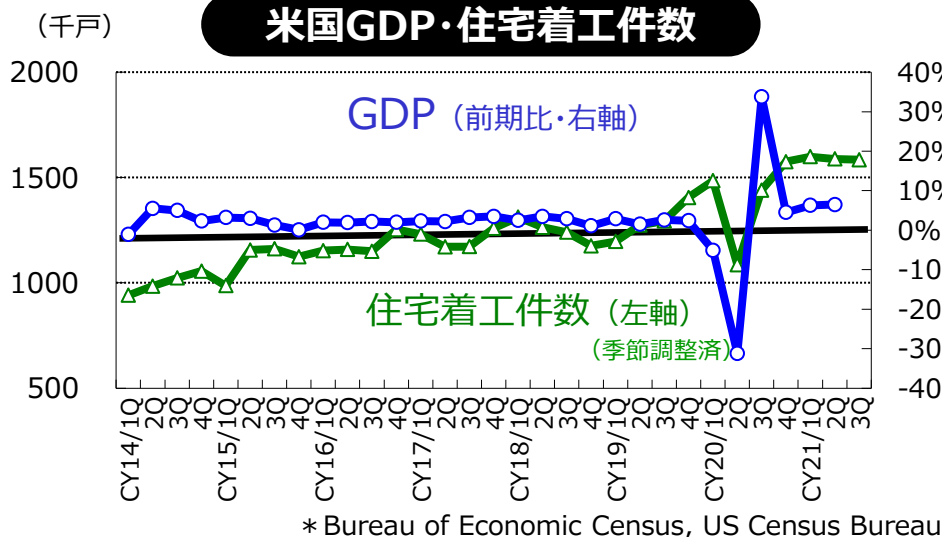
ホイールローダ需要

* 当社推定

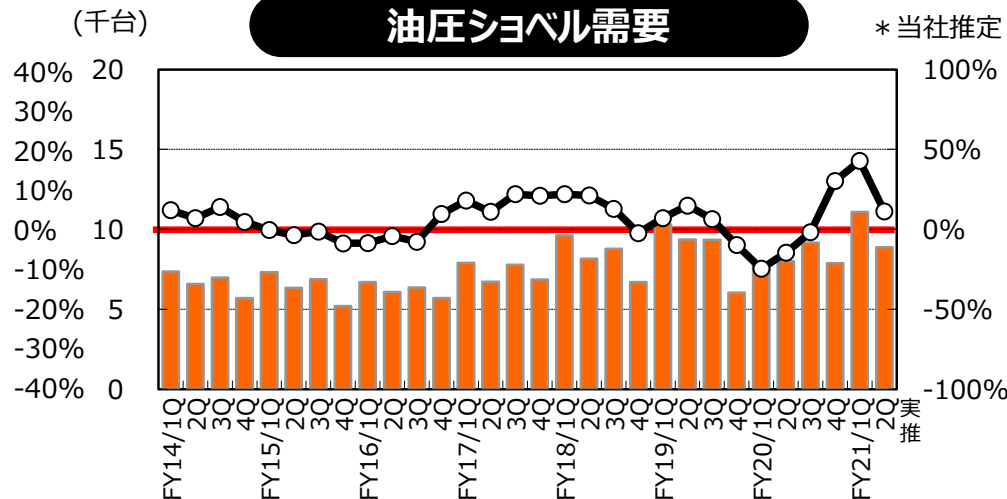


- 住宅市場は好調。商業施設と公共工事は前年並み。
- 油圧需要は増加：前年同期比 油圧 +11%、ミニ +3%

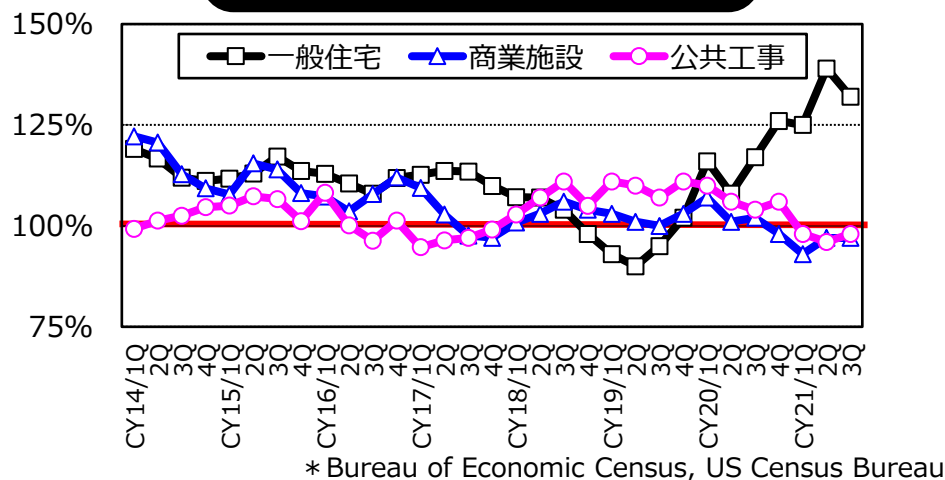
米国GDP・住宅着工件数



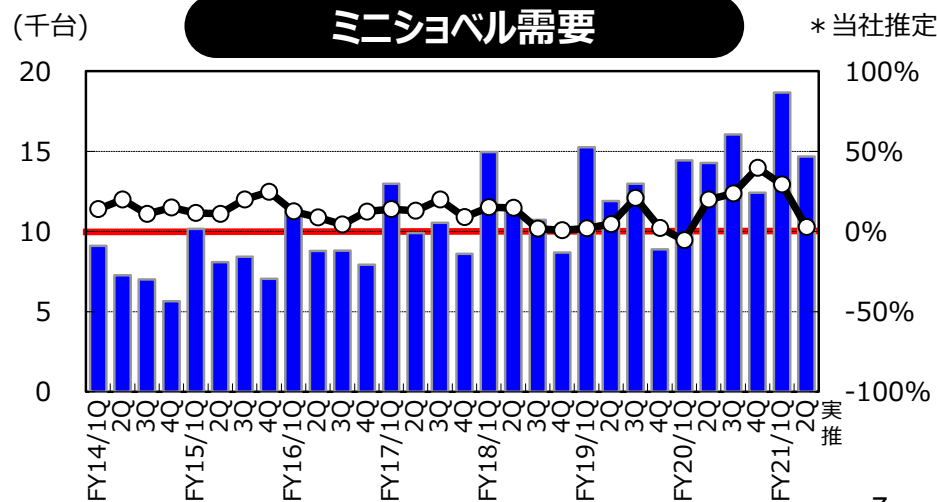
油圧ショベル需要



米国建設投資 (前年同期比)

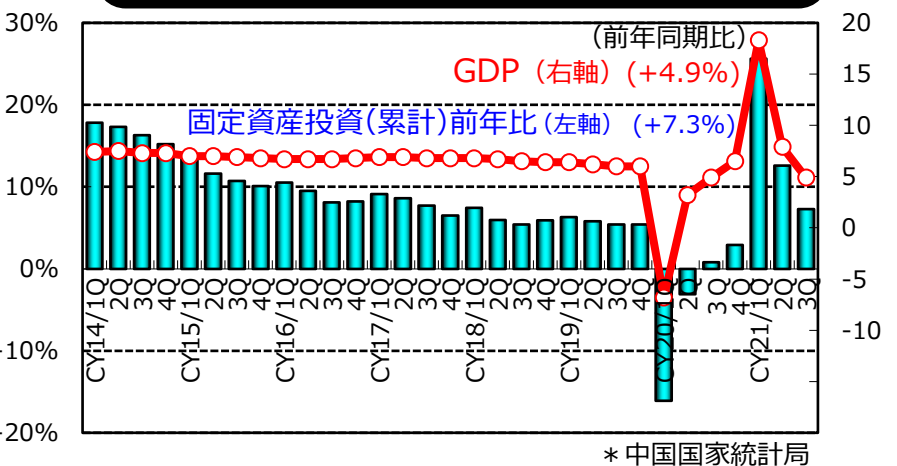


ミニショベル需要



- GDP成長率は+4.9%
- 油圧需要は減少（前年同期比 -57%、外資のみ）

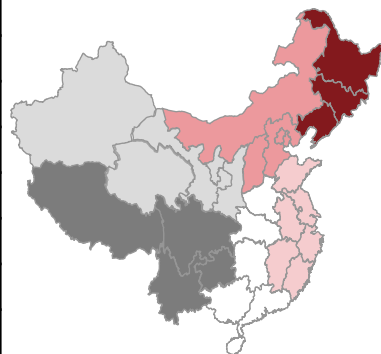
GDP・固定資産投資



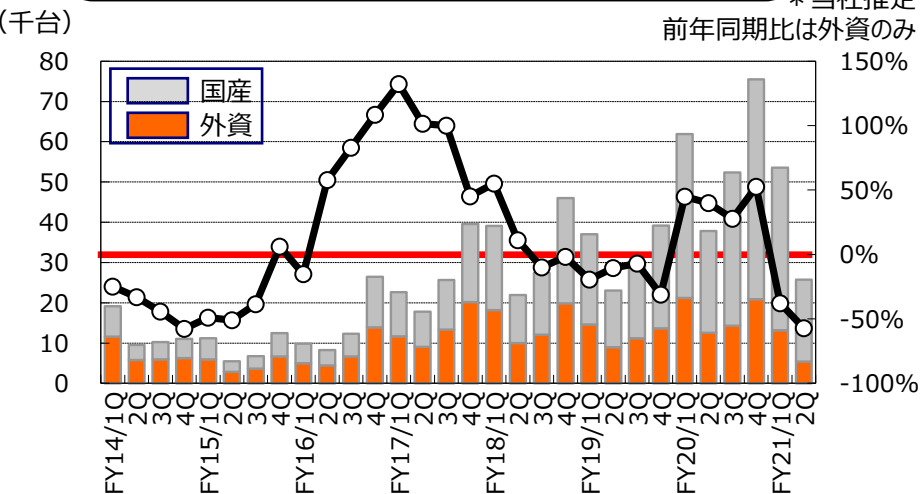
地域別油圧シヨベル四半期別前年比

* 外資のみ
* 当社推定

FY20(%)	3Q	4Q	1Q	2Q
東北	+27	+98	-31	-45
華北	+23	+76	-20	-40
華東	+36	+42	-42	-63
華中南	+22	+70	-42	-55
西北	+27	+68	-42	-62
西南	+26	+25	-35	-60
中国全体	+28	+53	-37	-57

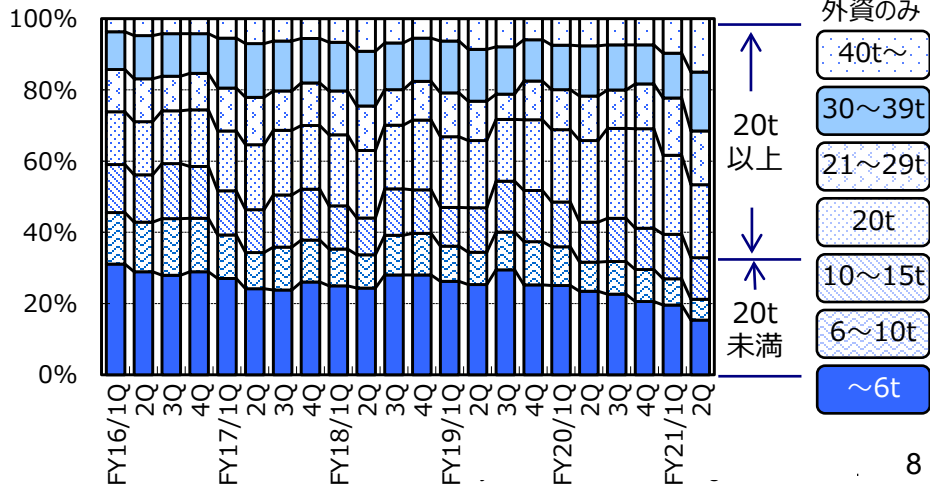


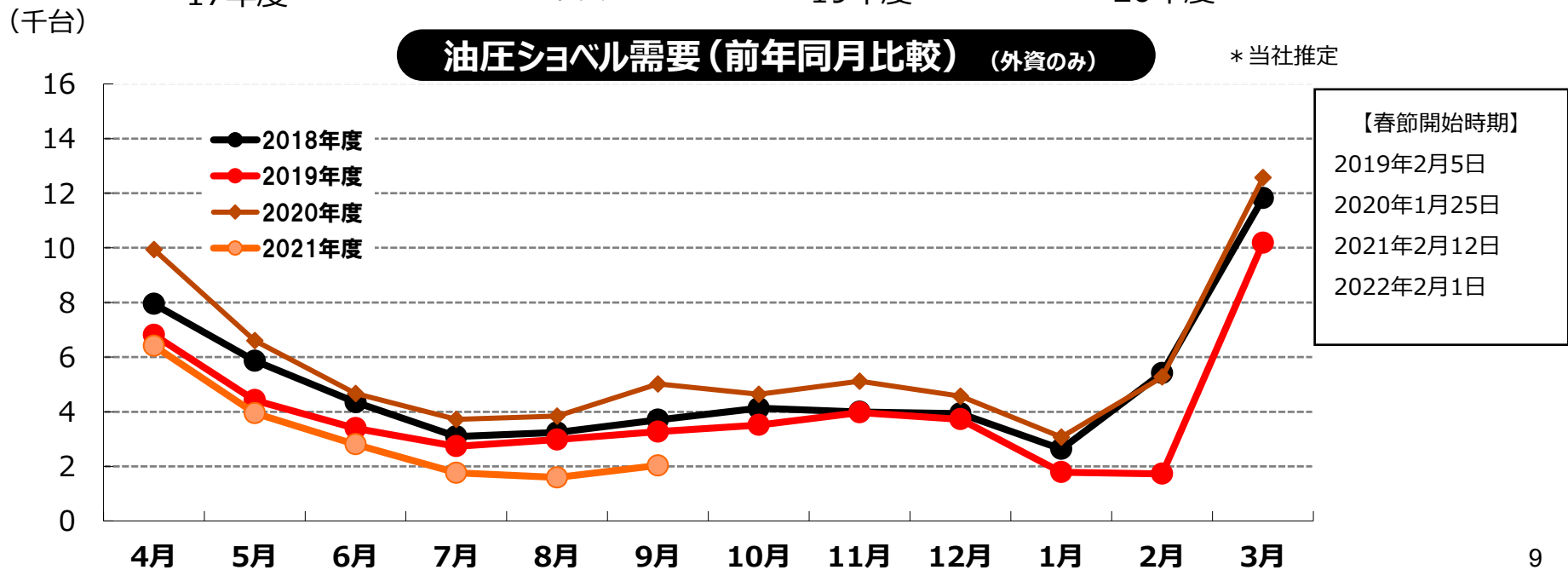
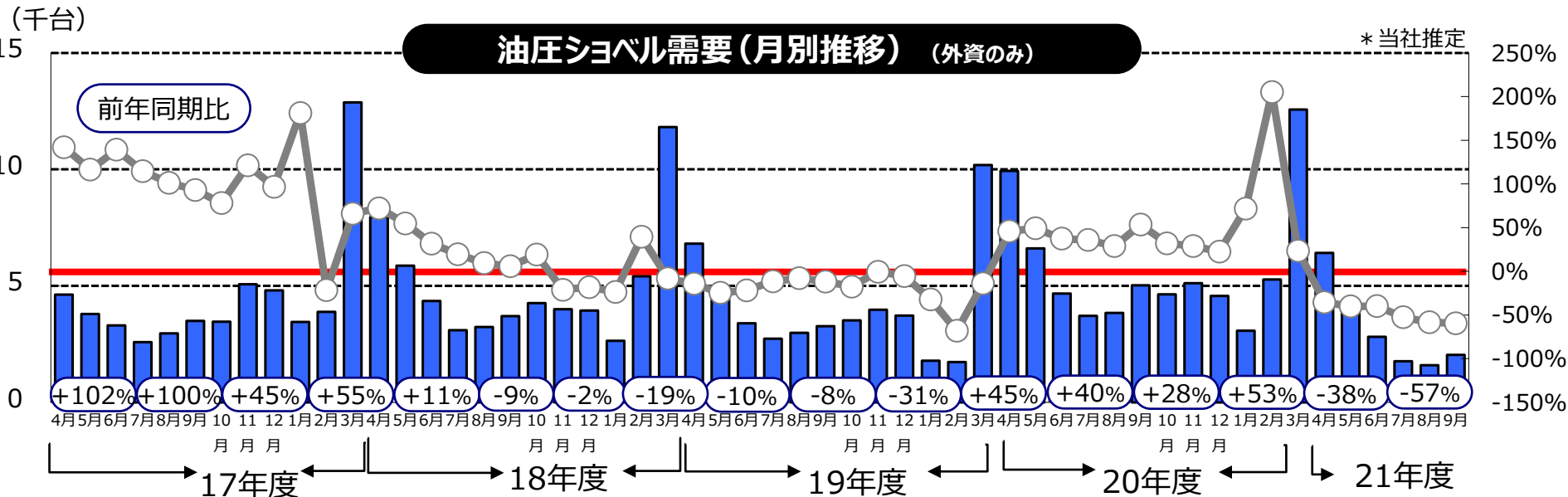
油圧シヨベル需要



ミニ・油圧シヨベル クラス別需要構成比

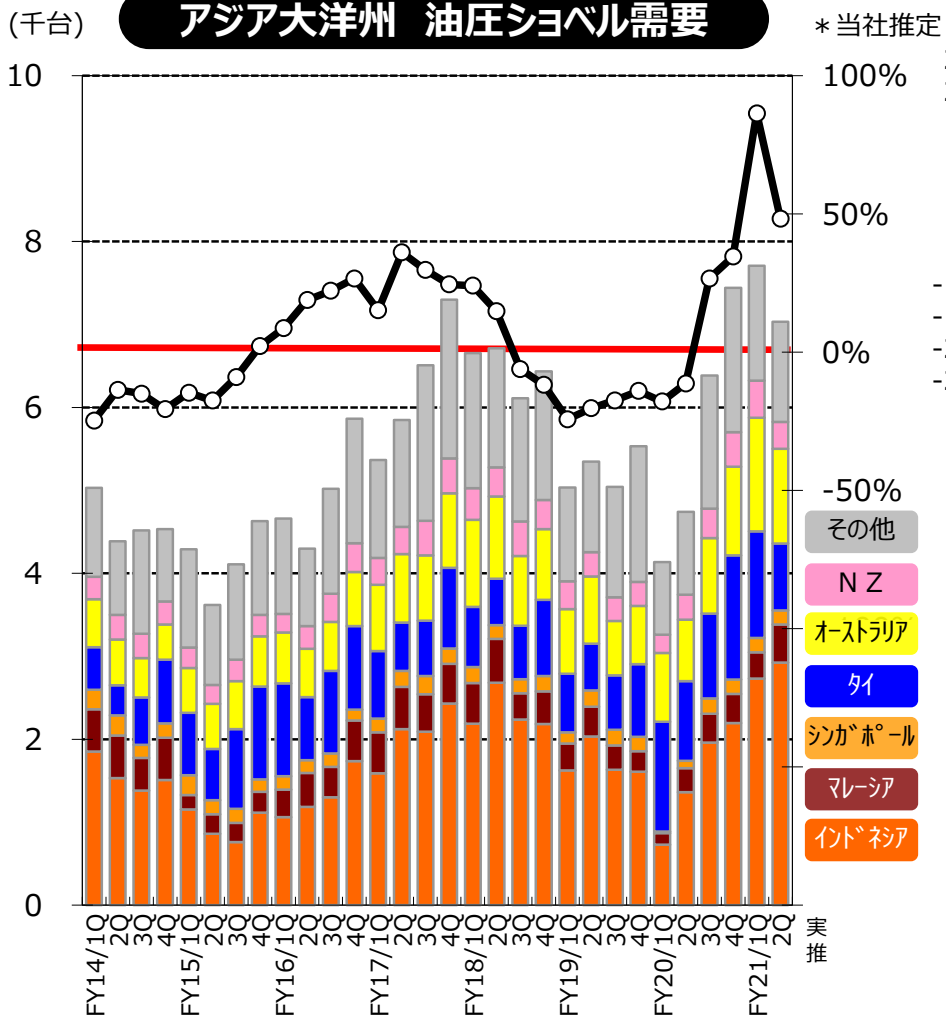
* 当社推定
外資のみ



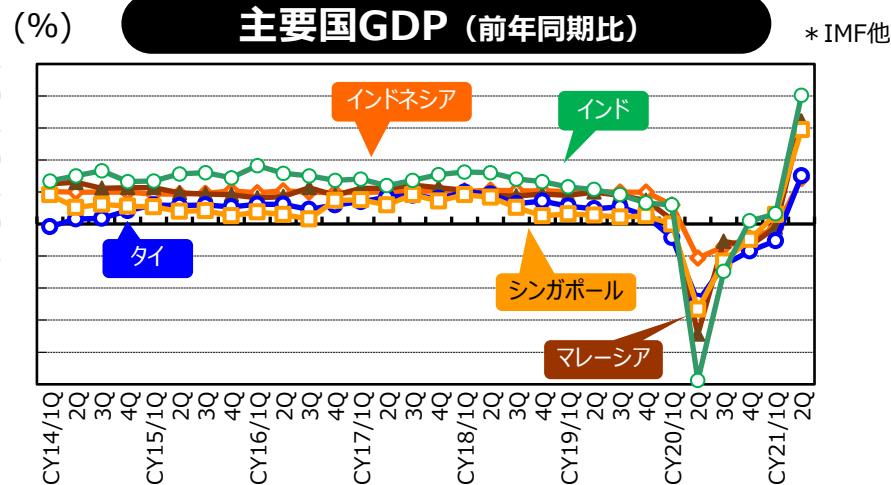


- アジア大洋州の油圧需要は全体では前年同期比 +48%
- インドの油圧需要は前年同期比 +28%

アジア大洋州 油圧ショベル需要

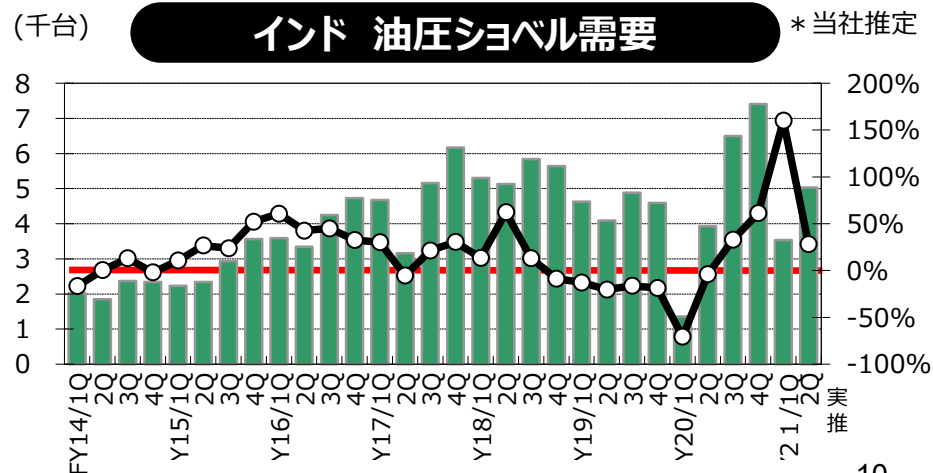


主要国GDP (前年同期比)



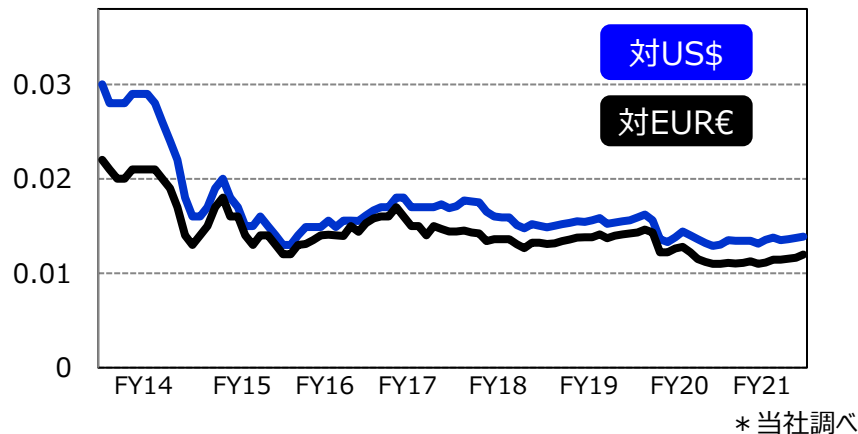
※インドGDP成長率はCY13 2Qより測定基準を変更

インド 油圧ショベル需要

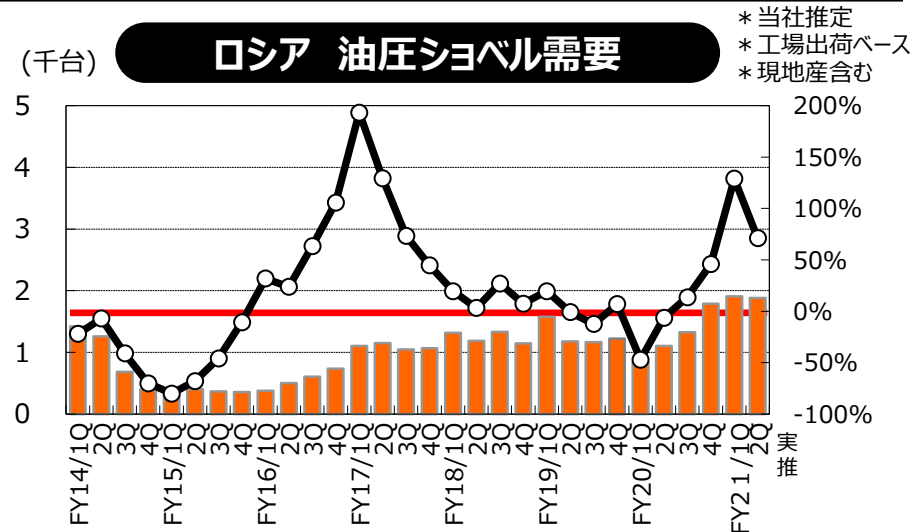


- ロシアの油圧需要は前年同期比 +71%
- 中東の油圧需要は前年同期比 +79%

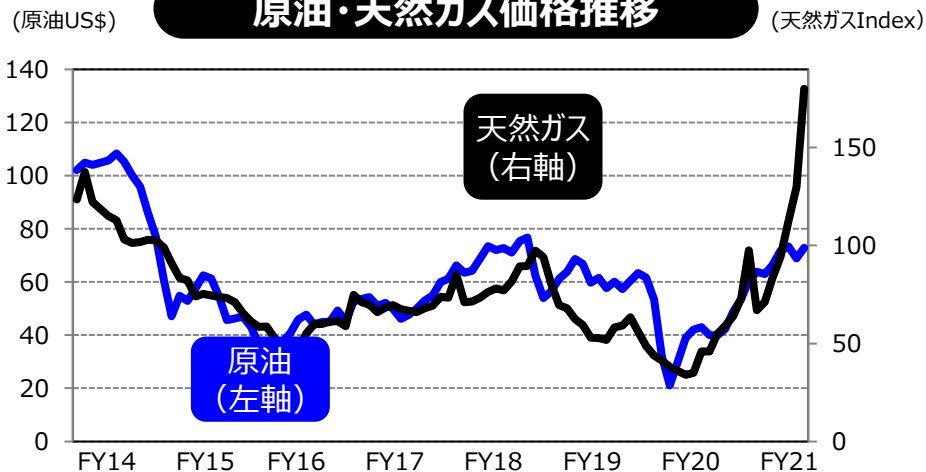
ルーブル為替推移



ロシア 油圧ショベル需要



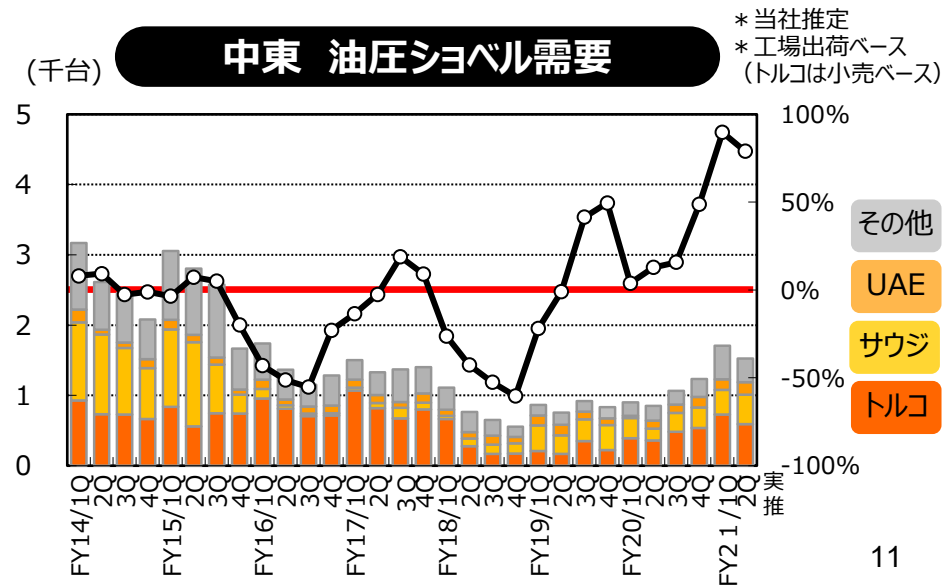
原油・天然ガス価格推移



* 世界銀行ホームページより当社作成

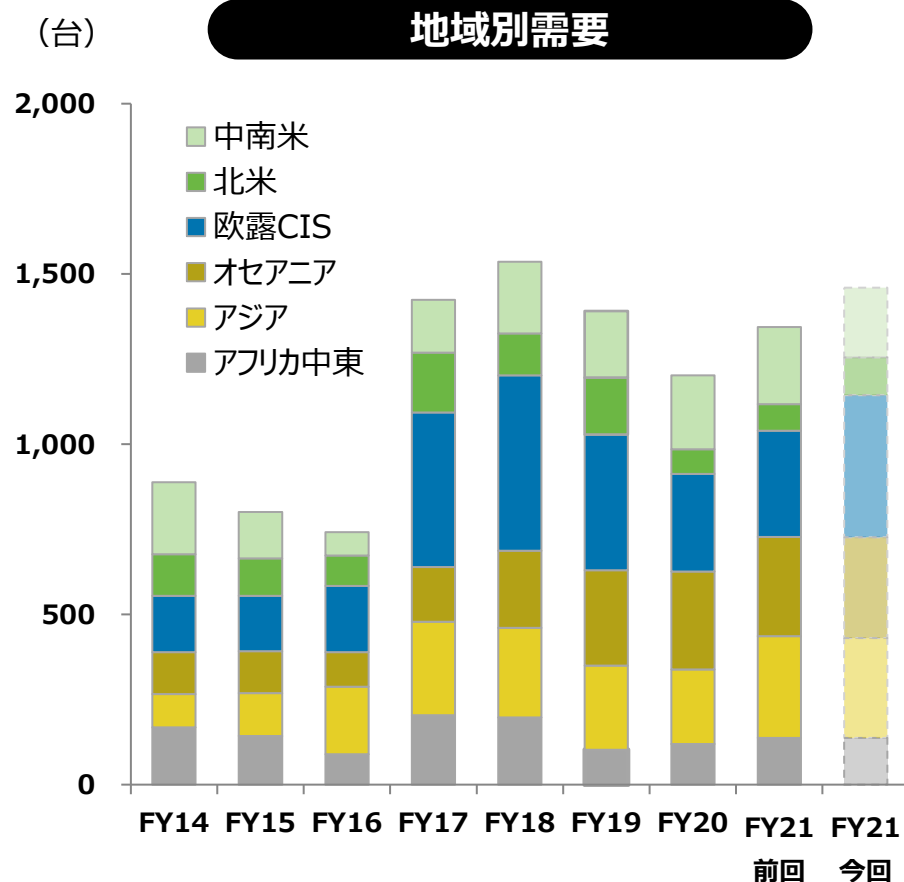
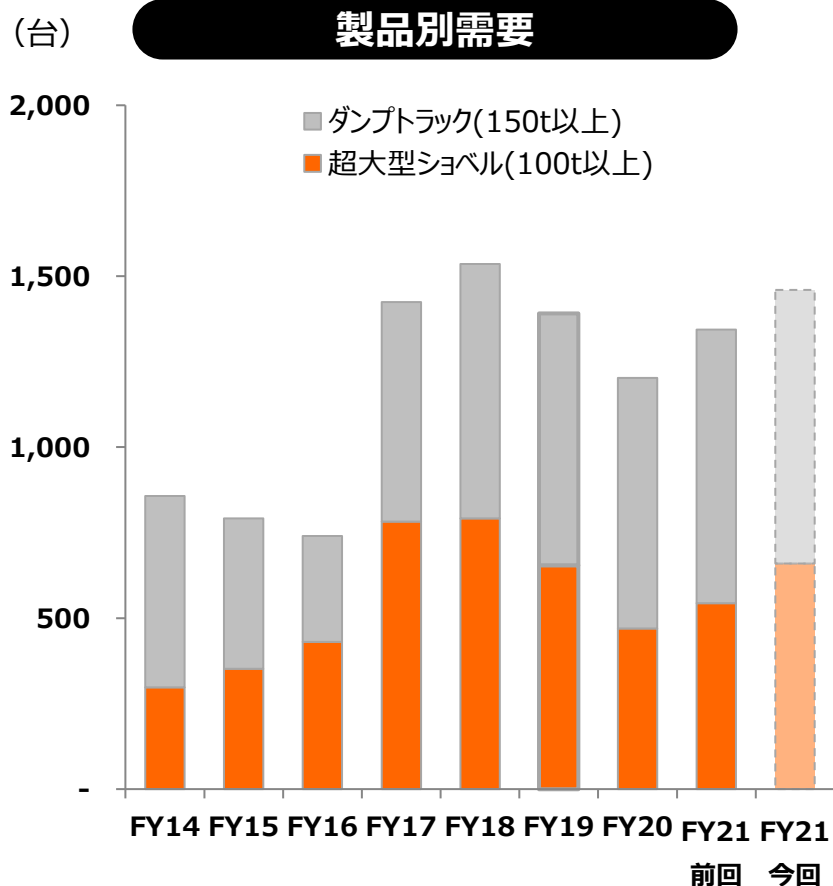
* 天然ガスIndex : 2010年=100

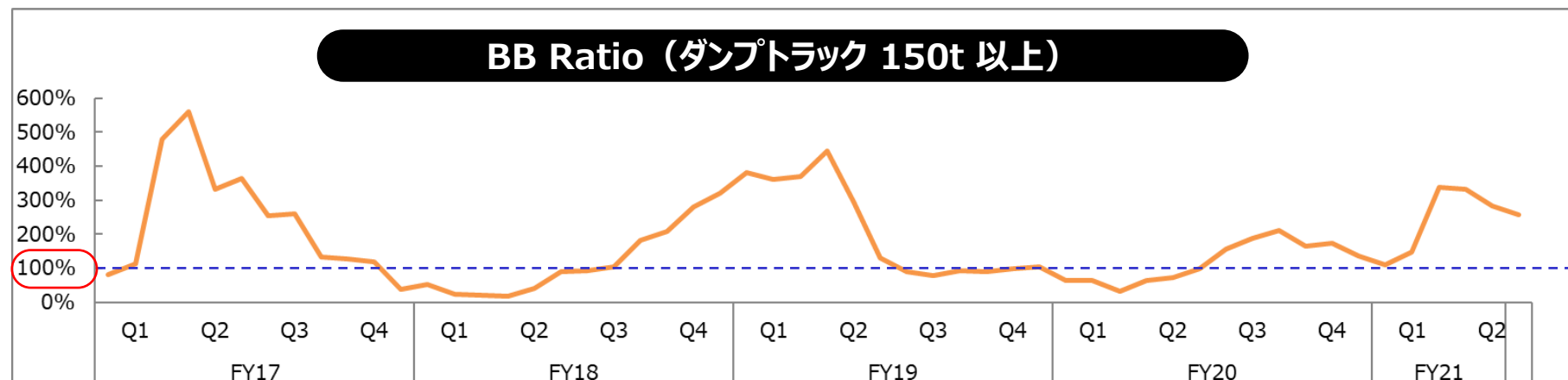
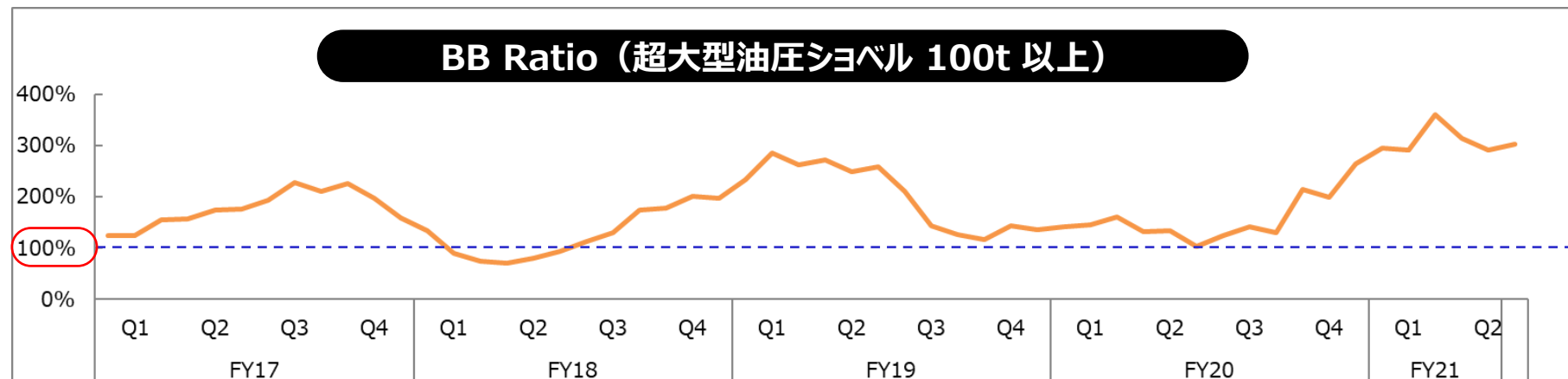
中東 油圧ショベル需要



- 21年度マイニング需要は対前年+21%増加を見通す
- ハードロック向け需要は依然堅調、中小鉱山・コントラクタ向け100tクラスショベル需要増加

超大型油圧ショベル (100t以上)、ダンプトラック (150t以上)





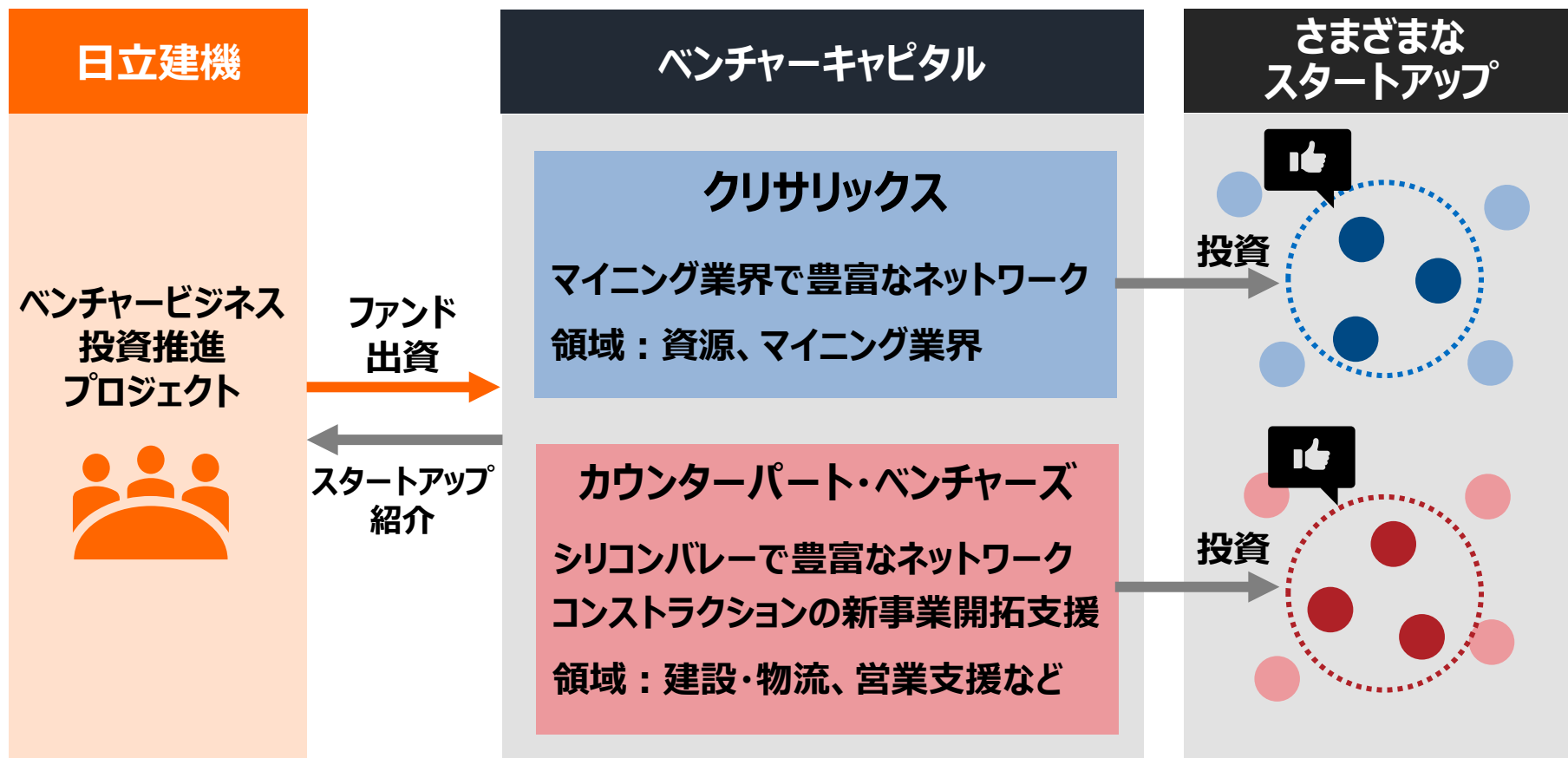
※Book-to-Bill(BB)Ratio = Booking(受注額)/ Billing(出荷額)

当社単独の受注・出荷額の6ヶ月平均

ベンチャーキャピタルを通じて有望なスタートアップを探索、連携強化

- ・「ベンチャービジネス投資推進プロジェクト」発足（2020年4月）
- ・2つのベンチャーキャピタルのファンドへの出資を通じ、オープンイノベーションを強化（2020年10月、2021年4月）

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



ザンビア政府が進める建設機械オペレータの人財育成プロジェクトに 日本政府とUNIDOとともに参画（2021年10月開始）



- 日立建機ザンビアが、若年層の雇用機会拡大を目的に教育カリキュラム・教材作成支援、教育機器などを提供
- 年間125人の建設機械オペレーターの創出に寄与
- 事業を通じて社会課題の解決に貢献



本プロジェクト開始における調印式の様子



UNIDO・日立建機 共同声明を発表

日立建機クレー射撃部所属 中山由起枝（なかやまゆきえ）選手が 東京2020オリンピック「射撃 混合トラップ」で5位入賞



社内オンライン報告会を実施



中山選手プロフィール
1997年入社。高校生までソフトボール選手として活躍後、当社入社を機にクレー射撃に競技を転向。競技歴24年で、5度目の五輪出場を果たした。

温かいご声援ありがとうございました！

2. 2022年3月期第2四半期 決算説明

執行役 財務本部長兼CFO

塩嶋 慶一郎

当第2四半期は、COVID-19の影響はあるも、為替円安影響242億円などにより、売上収益は前年同期比31%増収、調整後営業利益は248%増益。

(単位：億円)

		21年度 第2Q累計	20年度 第2Q累計	前年同期比 増減率
売上収益		4,737	3,609	31%
調整後営業利益 *1		(8.0%) 381	(3.0%) 109	248%
営業利益		(8.1%) 384	(2.4%) 85	349%
税引前四半期利益		(9.0%) 426	(1.3%) 48	790%
親会社株主に帰属する 四半期利益		(6.7%) 319	(0.1%) 2	-
EBIT *2		(9.3%) 439	(1.8%) 65	573%
為替	アメリカドル	109.8	107.0	2.8
	ユーロ	131.0	121.8	9.2
	中国元	17.0	15.2	1.7
	オーストラリアドル	82.6	73.3	9.3
1株当たり配当金 *3		45円	10円	35円

*1 [調整後営業利益]は、連結損益計算書に表示している営業利益からその他の収益及びその他の費用を除いた日立グループ統一の利益指標です。

*2 [EBIT]は、税引前当期利益から、受取利息の額を減算し、支払利息の額を加算して算出した指標です。(EBIT=Earnings before interests and taxes)

*3 [1株当たり配当金]は、連結業績に連動した剰余金の配当を原則として、中間と期末の2回に分けて同一年度に2度実施する方針であり、連結配当性向30%程度、もしくはそれ以上をめざします。

中国を除き各地域で前年同期比増収となり、連結合計では1,128億円の増収。

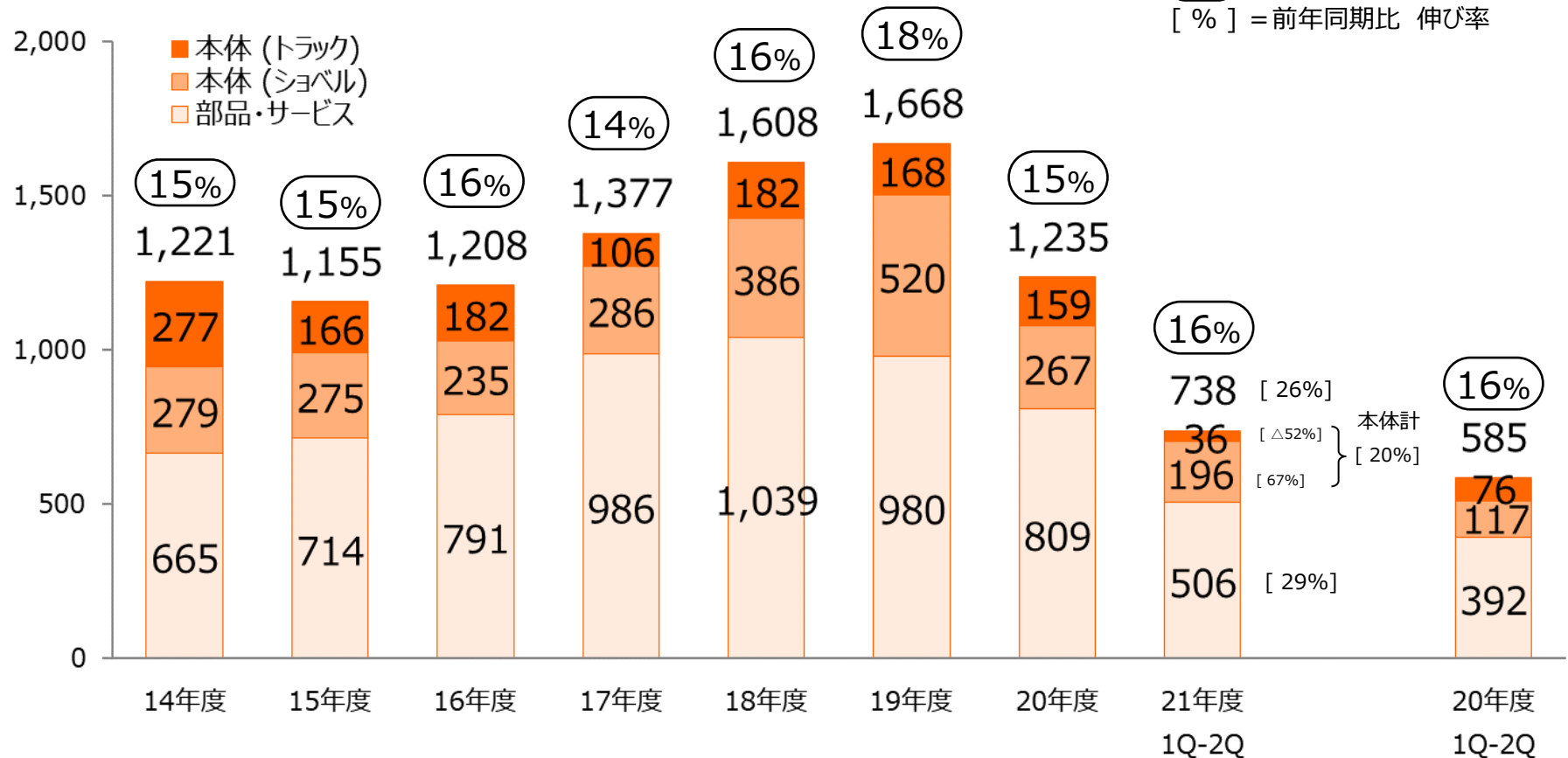
(単位：億円)

	21年度 第2Q累計		20年度 第2Q累計		前年同期比	
					金額	増減率
日本	969	20%	911	25%	58	6%
アジア	357	8%	213	6%	144	67%
インド	234	5%	160	4%	74	46%
オセアニア	808	17%	694	19%	113	16%
欧州	584	12%	340	9%	244	72%
北米	932	20%	477	13%	456	96%
中南米	102	2%	52	1%	50	98%
ロシアCIS	165	3%	99	3%	66	67%
中東	102	2%	86	2%	16	18%
アフリカ	193	4%	155	4%	38	25%
中国	291	6%	423	12%	△ 131	△ 31%
合計	4,737	100%	3,609	100%	1,128	31%
海外売上収益比率	80%		75%			

当第2四半期は、為替円安影響57億円もあり、前年同期比26%増の738億円。

(単位：億円)

(注) (％) = 全社売上収益に占める比率
[％] = 前年同期比 伸び率



バリューチェーン*1 売上収益推移

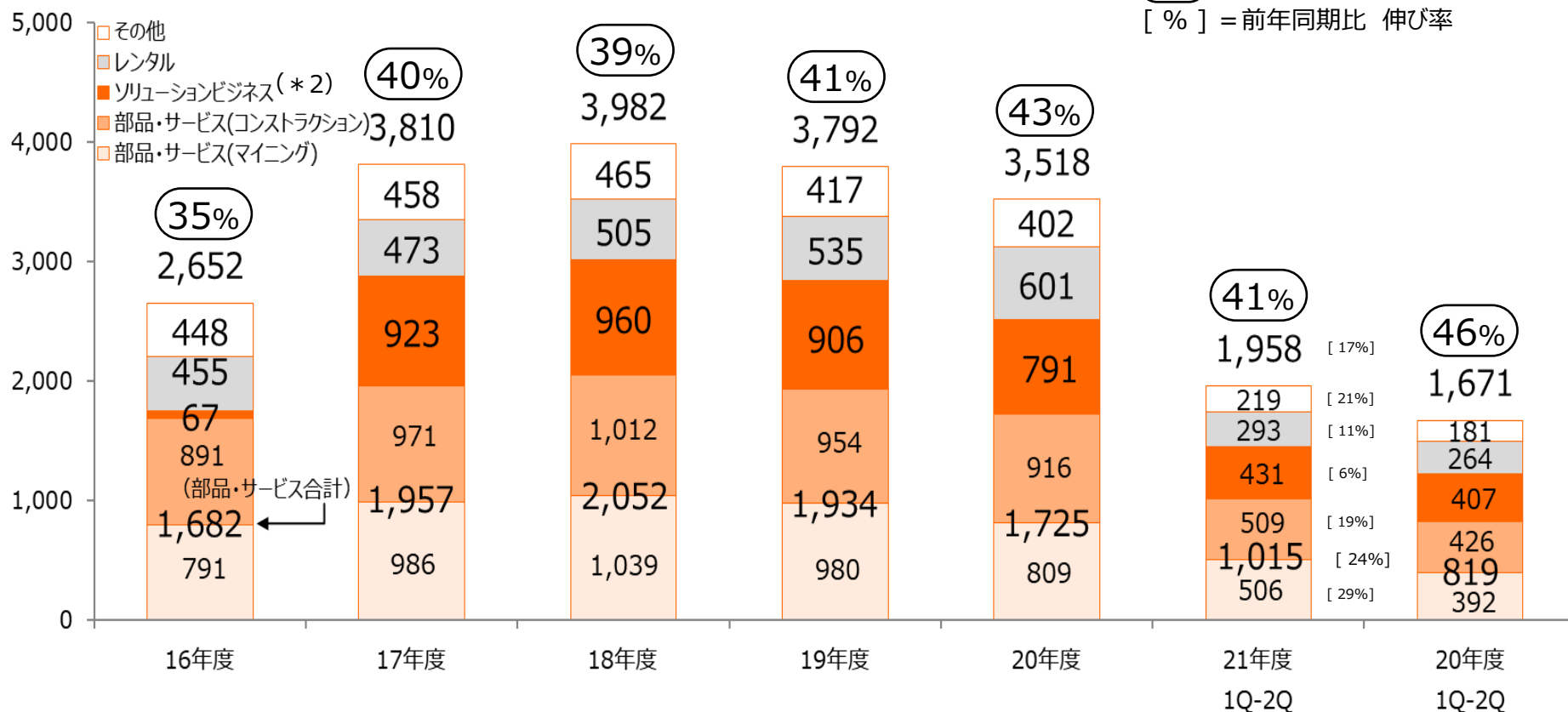
HITACHI

Reliable solutions

当第2四半期は、為替円安影響115億円もあり、合計では前年同期比17%増収の1,958億円。

(単位：億円)

(注) (％) = 全社売上収益に占める比率
[％] = 前年同期比 伸び率

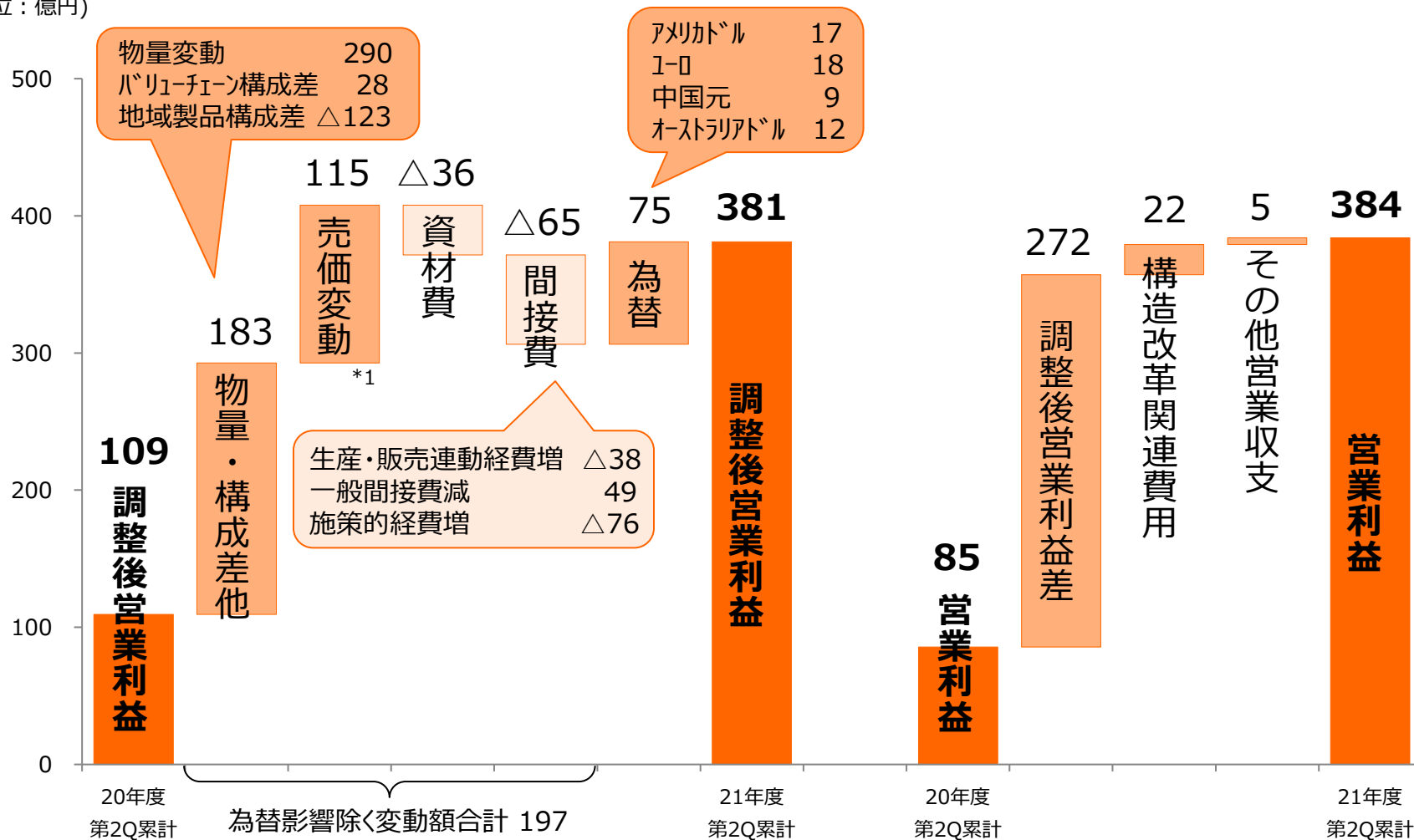


*1 バリューチェーン：新車販売以外の事業である部品・サービス、ソリューションビジネス、レンタル等の事業合計

*2 ソリューションビジネス：建設機械ビジネスセグメントに含まれないマイニング設備及び機械のアフターセールスにおける部品開発、製造、販売及びサービスソリューションの提供

調整後営業利益は、物量・構成差、通常売価アップに加え、北中南米での価格調整もあり、為替円安影響と合わせて、前年同期比272億円の増益。

(単位：億円)



*1 売価変動:北中南米での価格調整111億円を含む

販売費・管理費は887億円と前年同期比122億円の増。

(単位：億円)

	21年度 第2Q累計		20年度 第2Q累計		前年同期比	
					金額	増減率
売上収益		4,737		3,609	1,128	31%
売上原価	(73.2%)	3,469	(75.8%)	2,734	735	27%
販売費・管理費	(18.7%)	887	(21.2%)	766	122	16%
調整後営業利益 *1	(8.0%)	381	(3.0%)	109	272	248%
その他の収益及び費用		3		△24	27	-
営業利益	(8.1%)	384	(2.4%)	85	299	349%
金融収益及び費用		△5		△38	33	△87%
持分法投資損益		47		1	46	-
税引前四半期利益	(9.0%)	426	(1.3%)	48	378	790%
法人所得税費用		86		26	60	228%
四半期利益	(7.2%)	340	(0.6%)	22	318	-
親会社株主に帰属する 四半期利益	(6.7%)	319	(0.1%)	2	317	-

*1 [調整後営業利益]は、連結損益計算書に表示している営業利益からその他の収益及びその他の費用を除いた日立グループ統一の利益指標です。

要約連結 四半期別売上収益・営業利益（率）

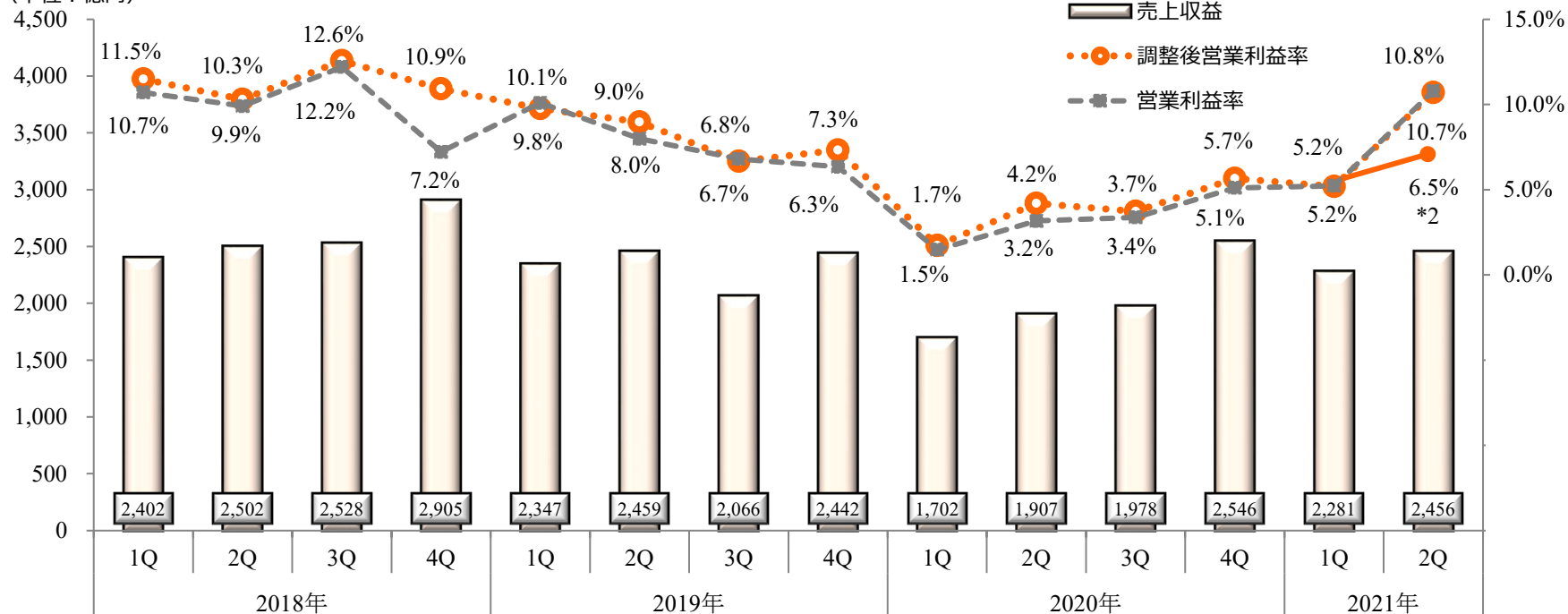
HITACHI

Reliable solutions

(単位:億円)

	2018年				2019年				2020年				2021年	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q*1
売上収益	2,402	2,502	2,528	2,905	2,347	2,459	2,066	2,442	1,702	1,907	1,978	2,546	2,281	2,456
調整後営業利益	276	258	318	317	229	221	138	179	29	80	74	144	118	263
営業利益	257	248	308	210	237	196	141	155	25	60	67	130	119	265

(単位:億円)



*1 北中南米での価格調整111億円を含む

*2 北中南米での価格調整111億円を除く

四半期別 為替レート	2018年				2019年				2020年				2021年	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
アメリカドル	109.1	111.5	112.9	110.2	109.9	107.4	108.8	108.9	107.6	106.2	104.5	105.9	109.5	110.1
ユーロ	130.1	129.6	128.8	125.2	123.5	119.3	120.3	120.1	118.5	124.1	124.5	127.7	132.0	129.8
中国元	17.1	16.4	16.3	16.3	16.1	15.3	15.5	15.6	15.2	15.4	15.8	16.4	17.0	17.0
オーストラリアドル	82.6	81.5	81.1	78.5	76.9	73.6	74.3	71.8	70.7	75.9	76.3	81.8	84.3	80.9

要約連結財政状態計算書

HITACHI

Reliable solutions

当四半期末は、棚卸資産及び有形固定資産の増により総資産336億円の増加。

(単位：億円)

	(A) 21年2Q	(B) 20年度末	(C) 20年2Q	(A)-(B) 増減
現金及び現金同等物	877	803	651	74
営業債権	1,991	2,112	1,739	△121
棚卸資産	3,094	2,978	2,966	117
流動資産計	6,458	6,172	5,704	286
非流動資産合計	6,084	6,034	5,712	50
資産の部合計	12,541	12,206	11,415	336
非流動を含めた営業債権	2,402	2,527	2,107	△124
棚卸資産 内訳				
本体	802	773	756	29
部品	1,013	1,023	1,069	△10
その他	1,280	1,182	1,141	98
棚卸資産計	3,094	2,978	2,966	117
手持日数（分母は売上収益）				(単位：日)
営業債権（非流動含む）	95	113	95	△18
棚卸資産	122	134	133	△12
営業債務	45	49	38	△5
正味運転資金	168	194	187	△26

	(D) 21年2Q	(E) 20年度末	(F) 20年2Q	(D)-(E) 増減
営業債務及びその他債務合計	2,064	1,992	1,618	71
社債及び借入金	3,364	3,295	3,373	69
負債の部合計	6,586	6,513	6,112	72
（親会社所有者帰属持分比率）	(43.3%)	(42.1%)	(41.9%)	(1.2%)
資本の部合計	5,956	5,692	5,303	263
負債・資本の部合計	12,541	12,206	11,415	336
有利子負債計	(26.8%) 3,364	(27.0%) 3,295	(29.5%) 3,373	(△0.2%) 69
現金及び現金同等物	877	803	651	74
ネット有利子負債	(19.8%) 2,486	(20.4%) 2,492	(23.8%) 2,722	(△0.6%) △5
ネットD/エレシオ	0.46	0.48	0.57	△ 0.03

営業キャッシュ・フローは281億円のポジティブ。

(単位：億円)

	21年度 第2Q累計	20年度 第2Q累計	前年同期比 増減額
四半期利益	340	22	318
減価償却費	612 272	267 246	344 26
売掛金及び受取手形の増減	137	473	△ 336
棚卸資産の増減	51 △ 122	289 114	△ 238 △ 236
買掛金及び支払手形の増減	36	△ 298	334
その他	△ 382	△ 179	△ 203
営業活動に関するキャッシュ・フロー	281	378	△ 97
営業キャッシュ・フロー・マージン率	5.9%	10.5%	△ 4.6%
投資活動に関するキャッシュ・フロー	△ 159	△ 170	11
フリー・キャッシュ・フロー	122	208	△ 86
財務活動に関するキャッシュ・フロー	△ 56	△ 187	131

要約連結損益計算書(予想)

HITACHI

Reliable solutions

21年度連結損益計算書は、前回予想から上方に修正。

(単位：億円)

	21年度 予想			20年度 実績	前年比	
					金額	増減率
売上収益	9,200			8,133	1,067	13%
	(8.0%)			(4.0%)	(4.0%)	
調整後営業利益	740			327	413	126%
	(8.6%)			(3.5%)	(5.1%)	
営業利益	790			282	508	180%
	(8.7%)			(3.1%)	(5.6%)	
税引前当期利益	800			256	544	213%
	(5.0%)			(1.3%)	(3.7%)	
親会社株主に帰属する当期利益	460			103	357	345%
EBIT	829			287	541	
通貨	1Q-2Q	3Q-4Q	年度	20年度 実績	前年比	
	実績	予想	予想			
アメリカドル	109.8	105.0	107.2	106.0	1.2	為替感応度は 参考資料1を ご参照ください
ユーロ	131.0	125.0	127.9	124.6	3.3	
中国元	17.0	16.0	16.4	15.7	0.7	
オーストラリアドル	82.6	80.0	81.3	76.0	5.2	
1株当たり配当金 *1	未定			20円	-	

*1 [1株当たり配当金]は、連結業績に連動した剰余金の配当を原則として、中間と期末の2回に分けて同一年度に2度実施する方針であり、連結配当性向30%程度、もしくはそれ以上をめざします。

要約地域別売上収益(予想)

HITACHI

Reliable solutions

21年度連結売上収益は、対前回比で400億円、対前年比で1,067億円の増収を見込む。

(単位：億円)

	21年度 予想		20年度 実績		前年比	
					金額	増減率
日本	2,073	23%	2,033	25%	40	2%
アジア	722	8%	527	6%	195	37%
インド	495	5%	500	6%	△6	△1%
オセアニア	1,559	17%	1,399	17%	160	11%
欧州	1,052	11%	878	11%	173	20%
北米	1,601	17%	1,072	13%	529	49%
中南米	167	2%	109	1%	59	54%
ロシアCIS	380	4%	227	3%	153	67%
中東	210	2%	161	2%	49	30%
アフリカ	353	4%	336	4%	17	5%
中国	589	6%	891	11%	△301	△34%
合計	9,200	100%	8,133	100%	1,067	13%
海外売上収益比率	77%		75%			

マイニング売上収益推移(予想)

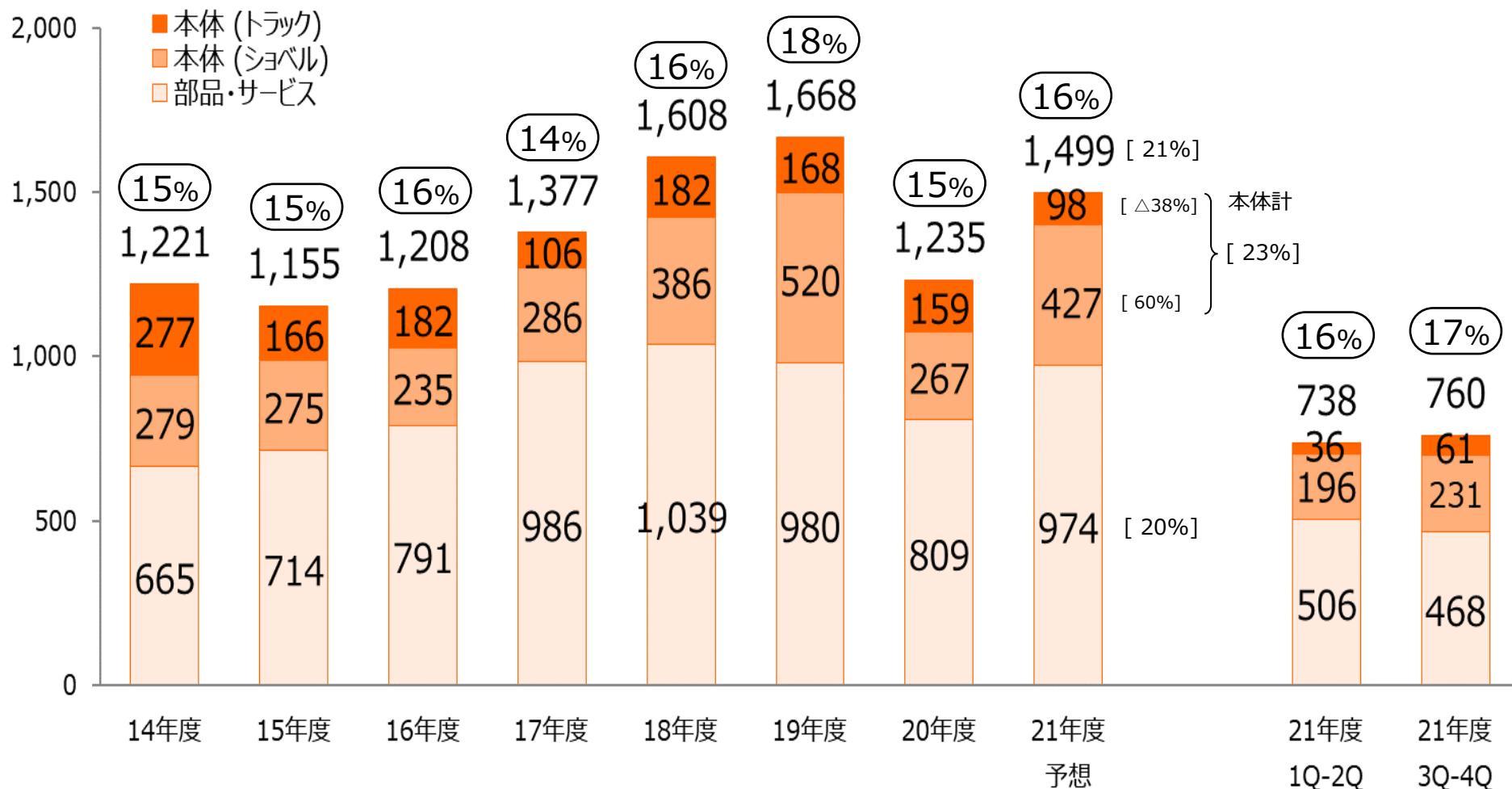
HITACHI

Reliable solutions

21年度マイニング売上収益は、対前回比で9%、対前年比で21%増収の1,499億円を見込む。

(単位：億円)

(注) (％) = 全社売上収益に占める比率
[％] = 前年比 伸び率

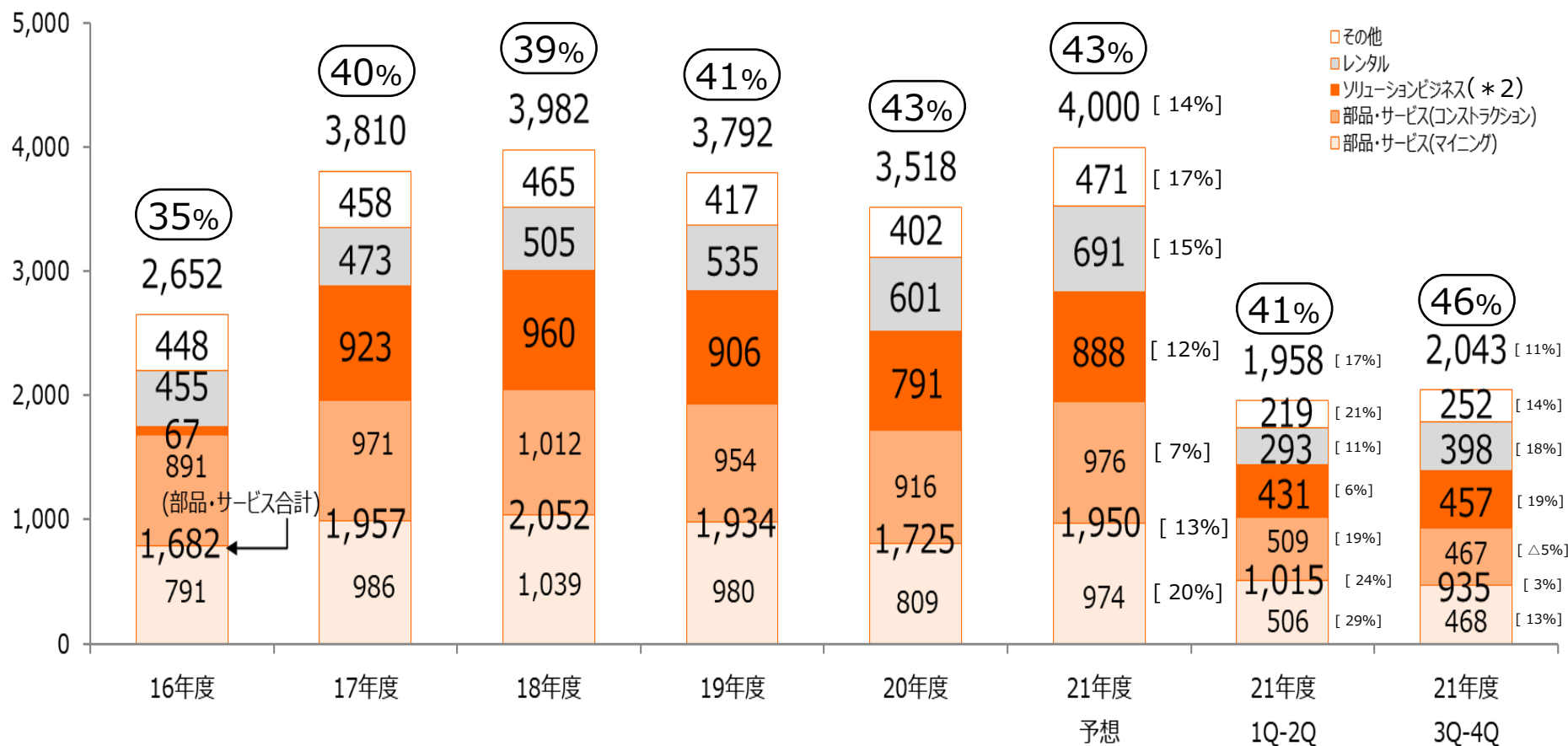


バリューチェーン*1 売上収益推移(予想)

バリューチェーンは対前回比で2%、対前年比で14%増収の4,000億円を見込む。

(単位：億円)

(注) (％) = 全社売上収益に占める比率
[％] = 前年比 伸び率



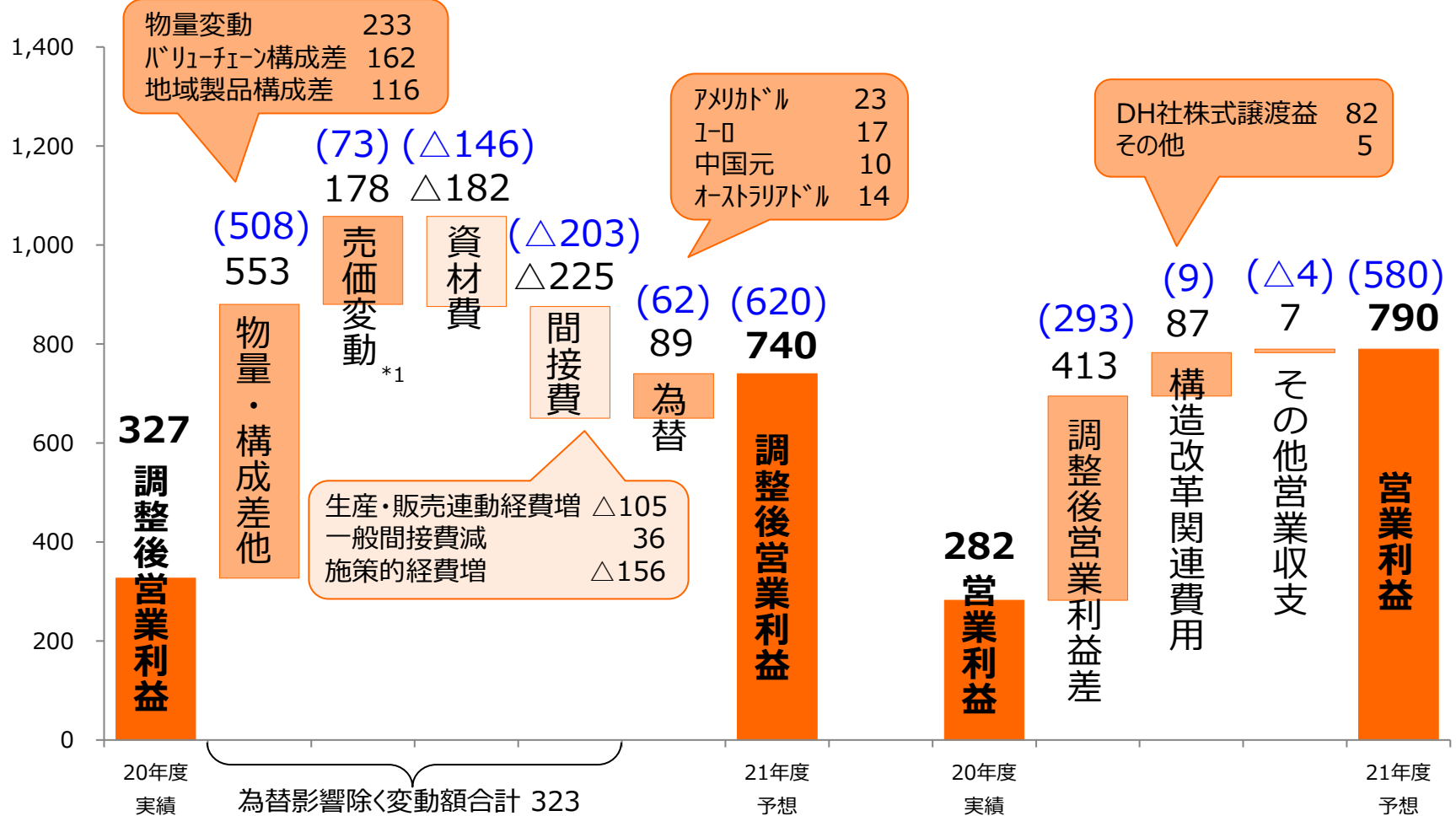
*1 バリューチェーン：新車販売以外の事業である部品・サービス、ソリューションビジネス、レンタル等の事業合計

*2 ソリューションビジネス：建設機械ビジネスセグメントに含まれないマイニング設備及び機械のアフターセールスにおける部品開発、製造、販売及びサービスソリューションの提供

連結損益変動要因(予想)

調整後営業利益は、物量・構成差、通常売価アップに加え、北中南米での価格調整もあり、為替円安影響と合わせて、前年比413億円の増を見込む。

(単位：億円) 注.()内は21年7月公表値



*1 売価変動:北中南米での価格調整111億円を含む

参考資料 1 : 為替レート及び為替感応度

HITACHI

Reliable solutions

21年度予想為替レートは、通貨毎に予想変動レンジ内で合理的に設定。

為替レート及び為替感応度

(単位：億円)

通貨	為替レート				感応度(3Q-4Q累)		
	21年度			20年度 実績	基 準	売上収益	調整後 営業利益
	1Q-2Q 実績	3Q-4Q 予想	年度 予想				
アメリカドル	109.8	105.0	107.2	106.0	1円円安になった場合	11	9
ユーロ	131.0	125.0	127.9	124.6	1円円安になった場合	3	3
中国元	17.0	16.0	16.4	15.7	0.1円円安になった場合	2	1
オーストラリアドル	82.6	80.0	81.3	76.0	1円円安になった場合	11	1

参考資料 2 : マイニング売上収益内訳

HITACHI

Reliable solutions

(単位 : 億円)

		20年度実績			21年度予想			差額		
		1-2Q累	3-4Q累	年度	1-2Q累	3-4Q累	年度	1-2Q累	3-4Q累	年度
米州	ショベル	49	57	106	64	26	90	15	△ 31	△ 16
	トラック	6	15	21	14	13	26	8	△ 2	5
	計	54	72	127	77	39	116	23	△ 33	△ 11
欧阿中東	ショベル	71	82	153	117	138	255	46	56	102
	トラック	57	65	122	79	67	146	22	2	24
	計	128	147	276	196	205	401	68	57	125
アジア・大洋州	ショベル	239	257	496	341	379	719	102	121	223
	トラック	154	155	308	113	131	244	△ 41	△ 24	△ 64
	計	393	412	805	454	510	964	61	98	159
中国	ショベル	3	4	7	3	4	7	△ 0	△ 0	△ 1
	トラック	0	0	1	0	1	1	0	0	1
	計	3	4	8	3	4	8	△ 0	△ 0	△ 0
日本	ショベル	4	12	16	7	3	10	3	△ 9	△ 5
	トラック	3	1	4	0	0	0	△ 3	△ 1	△ 4
	計	6	13	20	7	3	10	1	△ 10	△ 9
合計	ショベル	366	413	779	532	549	1,081	166	136	303
	トラック	220	236	456	206	211	417	△ 13	△ 25	△ 39
	計	585	649	1,235	738	760	1,499	153	111	264

参考資料 3 : セグメント情報

HITACHI

Reliable solutions

下記ソリューションビジネスの調整後営業利益は、P P A (資産再評価)償却費が含まれております。
21年度第2四半期実績には5億円、21年度予想には11億円がそれぞれ含まれております。

(単位：億円)

21年度 第2Q累計	報告セグメント		調整額 *1	連結財務諸表 計上額
	建設機械 ビジネス	ソリューション ビジネス		
売上収益	4,306	446	△ 15	4,737
調整後営業利益	8.1% 347	7.7% 34	-	8.0% 381

(単位：億円)

21年度 予想	報告セグメント		調整額 *1	連結財務諸表 計上額
	建設機械 ビジネス	ソリューション ビジネス		
売上収益	8,312	888	0	9,200
調整後営業利益	8.0% 662	8.8% 78	-	8.0% 740

*1 [調整額]は、セグメント間取引消去額、及び事業セグメントに帰属しない全社に係る金額です。

21年度設備投資は、国内外工場の再編やレンタル事業の拡充などに特化。

1.設備投資（工事ベース）

（単位：億円）

	18年度	19年度	20年度	21年度 1-2Q累	21年度 3-4Q累	21年度
	実績	実績	実績	実績	見通し	見通し
設 備 投 資	304	472	347	217	334	551
賃 貸 用 営 業 資 産	272	369	386	263	182	445
合 計	576	841	734	480	516	996

2.減価償却費（有形・無形固定資産）

（単位：億円）

	18年度	19年度	20年度	21年度 1-2Q累	21年度 3-4Q累	21年度
	実績	実績	実績	実績	見通し	見通し
設 備 投 資	268	342	353	186	190	376
賃 貸 用 営 業 資 産	101	120	149	85	106	191
合 計	370	461	502	272	296	567

3.研究開発費

（単位：億円）

	18年度	19年度	20年度	21年度 1-2Q累	21年度 3-4Q累	21年度
	実績	実績	実績	実績	見通し	見通し
グループ 合 計	248	237	248	125	148	274

日立建機グループでは、持続可能な開発目標(SDGs)の17の目標のうち、10項目の重点目標を設定しています。
当資料内のトピックスはこの区分に該当するアイコンを表記し、紹介しています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

【見通しに関する注記事項】

本資料に記載されている、当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、現在入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。実際の業績は、様々な要因の変化により、記載の予想、計画、見通しとは大きく異なることがあります。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが含まれます。

END**お問い合わせ** **日立建機株式会社**

ブランド・コミュニケーション本部